

令和4年4月14日

関係各位

社会福祉法人 治恵会
理事長 寺前 稔

令和4年度従来型特別養護老人ホーム くつろぎベッド入替
備品購入に係る入札による事業者選定の実施について

標記について、社会福祉法人 治恵会が運営する特別養護老人ホーム くつろぎに係る備品購入について、下記のとおり入札による事業者選定を実施いたしますのでお知らせします。受託を希望される場合は、北見市実施要領を厳守のうえ、入札執行日時に仕様書を参照のうえ、執行日時に入札書を提出くださいますようお願い致します。

1. 事業名 令和4年度 社会福祉法人 治恵会 特別養護老人ホーム くつろぎベッド入替事業
2. 対象備品名 別紙仕様書を参照ください
3. 設置場所 特別養護老人ホーム くつろぎ 地下1階地上4階建て 1階・2階・3階各居室
4. 納入予定 令和4年 5月12日（木曜日）～ （入札落札事業所様と別途相談）
5. 入札日時 令和4年 5月11日（水曜日） 13:30～
6. 入札場所 〒090-0833
北見市とん田東町444番地1 社会福祉法人 治恵会
特別養護老人ホーム くつろぎ地下1階会議室
7. 留意事項
 - 1) 提出書類は、社会福祉法人 治恵会 理事長宛とし「入札書在中」と明記のうえ、持参願います。
 - 2) 見積書の金額については、任意様式にて上段に消費税を含めない金額と、下段に消費税を含めた金額の2通り記載願います。
 - 3) 代理人等による入札の場合は、委任状が必要となります。
 - 4) 入札を希望しない場合には、辞退することができます。その場合には、事前に入札辞退届を提出してください。
 - 5) 受託者が業務の履行にあたっては、関係法令を遵守することします。

以上

なお、仕様書に関するお問い合わせにつきまして担当 小泉・山口迄お願いします。

☎0157（33）5537

仕 様 書

件 名 電動リモートコントロールベッドの購入に関して

社会福祉法人 治恵会 令和3年度第5回理事会決議をもって下記の製品に「指定」することとする。

理 由

介護ベッドにおいては、以前「短期入所生活介護事業」及び「特別養護老人ホーム くつろぎユニット」導入時において、入札の結果、パラマウントベッド社製のベッドを導入したことから、特に利用者の安全性を重視し、ベッドに使用する「サイドレール」「スイングアーム介助バー」の互換性、ICT見守り支援の連動性の観点から、パラマウントベッド社製に限っての指定を行うこととする。

商品名	型式	数量	単位	備考
パラマウントベッド エスパシアシリーズベッド	KA-N1421R	85	台	
パラマウントベッド KRシリーズベッド	KR-83503R	25	台	
パラマウントベッド ベッドサイドレール	KS-161G	165	組	2本1組
パラマウントベッド スイングアーム介助バー	KS-098AG	55	本	
ナースコール中継ユニット 個室用	NU-18B0	40	個	
ナースコール中継ユニット 多床室用	NU-18A0	55	個	
送料（搬入設置料を含む）				
8年間延長保証（ゴム製品除く）※1		110	台分	

※1 メーカー保証を除く。7年間のベッドに係るメンテナンス保証。（合計8年）

ゴム製品（例 パッキン、オーリング、ゴム性バンパー） キャスターを除く保証。）

※2 入替のため既存品の撤去、その他納品に係る撤去作業・組立作業一切の費用を含むものとする。

落札者の決定方法

- 1) 予定価格の範囲内で、最低の価格をもって入札したものを落札者とする。
- 2) 落札となるべき同価格の入札者が2者以上あるときは、くじ引きにて決定する。

その他

- 1) 納入時期についての台数が多いため、詳細は落札者をもって後日協議することとする。
- 2) 支払いについては基本納入月の翌末日払いであるが台数が多いため落札者と別途協議。

ただし、新型コロナウイルス感染症蔓延等の状況においては「郵送」にて執り行う場合もある。

その場合については、入札希望事業者にお知らせするものとする。



PARAMOUNT BED

製品機能仕様書

※これは当社の製品機能仕様書です。下線部には産業財産権等が含まれております。

品名 : 電動リモートコントロールベッド

1. 製品規格番号 : KA-N1421R

2. 概要

- (1) 本ベッドは、背・膝の角度、高さの調節が単独で操作できる。各動作は、手元スイッチまたはベッドナビ(別売り)操作によりそれぞれ独立した電動アクチュエータで作動する。
- (2) 使用者の感電を防ぐため、分割された各鋼板ボトムを等電位接地し、電源ケーブルは保護接地端子(アース端子)を含む3Pプラグとする。
- (3) 緊急時には、ピンを取外すことにより背ボトムを下げるができる。
- (4) 高さ調節機構は垂直昇降方式とする。
- (5) 本ベッドは、抑制帯受(別売り)を用いてベッド側面に抑制帯を取付けることができる。
- (6) 本ベッドは、サイドレール受(別売り・オプション品取付孔2箇所を備える)を用いて、ベッド側面中央部にサイドレールを取付けることができる。
- (7) 本ベッドは、ベッドリンクケーブル(別売り)を用いて特定のエアマットレス(別売り)と接続できる。これにより、エアマットレスがベッドの背角度変化を自動で検知し、臀部の底着きを防ぐために、自動でエアマットレスの内圧を調整する。
- (8) ナースコール中継ユニット(別売り)をナースコールへ接続することで、離床通知、端座位通知、起床通知および見守り通知を行う。
- (9) 寸法は別紙図面による。

3. 各部の構成・機能

3.1 ボトム

- (1) ボトムは3分割の鋼板ボトムと1分割の樹脂ボトムで構成する。
- (2) 鋼板ボトムは主材を鋼板とし、成形絞りにより強度を確保する。また、通気性確保のため、それぞれの鋼板ボトムに複数の通気孔を設ける。
- (3) 背・膝・足の各ボトムは、清拭しやすい面形状とする。また、背ボトムと膝ボトム、膝ボトムと足ボトムの連結部は、清拭性に考慮したすき間を設ける。
- (4) 背ボトムと膝ボトムの連結部にはギャッチ動作時における体のずれ・腹部圧迫の軽減を図るため、短冊状に構成された屈曲ボトムにより緩やかな曲線を構成し、かつ伸びる機構を有する。
- (5) 足ボトムは使用者に適したベッドポジションが確保できるよう、2段階の角度調節機能を有する。
- (6) マットレスのずれ下がり・横ずれを抑制させるため、マットレス止めを備える。

3.2 メインフレーム

-
- (1) サイドフレーム上面はオプション品取付孔8ヶ所(片側4ヶ所)を備える。また、頭側にはIVポール取付孔2ヶ所を備える。
 - (2) (1)のオプション品取付孔は、不安全なすき間が生じることを予防するため、不適切なサイドレール等とベッドの組み合わせを防止したり、不適切な向きや位置にサイドレール等が取付くことを防止する構造とする。
 - (3) ベッドからの乗り降りや移乗が楽に行えるように、ベッド側面中央部を凹型形状とし、かつサイドフレームをベッド幅方向に縮めることができる構造とする。
 - (4) ベッドが物品などに接触した場合、接触した物品およびベッドのボトムやメインフレームなどの傷つき防止のため、サイドフレームに樹脂製サイドバンパーを備える。
 - (5) サイドフレームの樹脂製サイドバンパーは、破損した場合など、単独で交換可能な構造とする。
 - (6) サイドフレームの樹脂製サイドバンパーは、化粧シートを貼付け装飾する。(Rタイプは化粧シート無し)
 - (7) ベッドの総幅を狭くできるように、サイドフレームをベッド幅方向に縮めることができる構造とする。
 - (8) フットエンドフレームにサイドレール格納金具を備える。
 - (9) 手元スイッチコネクタを左右のサイドフレーム(左右各1ヶ所)、およびフットエンドフレーム(1ヶ所)に備え、使用環境に応じて手元スイッチおよびベッドナビ(別売り)1つを接続可能とする。なお、手元スイッチおよびベッドナビ接続位置を変更する際、手元スイッチおよびベッドナビのケーブルがベッド内側の不適切な位置に通され、リンク機構に挟まれて断線・漏電することを予防するため、各手元スイッチコネクタはリンク機構よりベッドの外側に配置されている。
 - (10) 患者の離床情報、端座位情報、起床情報および見守り情報を伝達するために、ヘッドエンドフレームに、ナースコールへ接続するためのコネクタを備える。

3.3 ベースフレーム

- (1) 角型鋼管で構成され、車椅子等の移乗のしやすさおよび看護時における足の安全確保のため、幅方向の寸法をキャスター取付幅寸法より小さくする。
- (2) キャスター取付部には、デザイン性および強度確保のため、ダイカストによる受金具を設ける。
- (3) キャスターロック作動用連動バーは、ベッド下部の清掃時に、突起物が引っかかる等の邪魔とならず、清掃がしやすいよう長手角パイプに内蔵する。
- (4) 車輪径10cmとし、ベースフレームに取付ける。キャスター操作ステップにより、4輪同時固定(首振り・回転固定)、4輪同時自在の切り替えが行える。キャスター操作ステップは、フットエンドフレーム下部と、足側のキャスター2輪に備え、ベッドの足側および側面から操作できる。
- (5) バリアフリー法の勾配基準の上限である 1/12 勾配の傾斜路において、ベッドのベースフレームと路面とのすき間が最も狭くなる傾斜路の頂点でも、ベッドが路面に接触せず走行できる構造とする。ベッドがいかなる床高においても当てはまる。

3.4 キャスター

-
- (1) 車輪の材質は、耐摩耗性・耐老化性・耐油性に優れ、特にワックスによる劣化が少ないポリウレタン樹脂製とする。
 - (2) ベッドに静電気が蓄積されるのを防ぐため、4輪のうち1輪を帯電防止キャスターとする。

3.5 ヘッドボード・フットボード

以下 木製ボードモダンタイプのみ該当 (KA-N1411A/B/C、KA-N1421A/B/C)

- (1) 容易に着脱ができ、不用意な外れを防ぐためのストッパーを設ける。
- (2) コーナー、および中央上部には傷つき防止のための樹脂製バンパーを備える。
- (3) 表面をオレフィン化粧板(芯材 MDF)、中央部に化粧シートを貼付け装飾する。
- (4) ボードの中央部に、ベッドナビ格納部を設ける。

以下 木製ボードベーシックタイプのみ該当 (KA-N1411F/G/H、KA-N1421F/G/H)

- (1) 容易に着脱ができ、不用意な外れを防ぐためのストッパーを設ける。
- (2) コーナーには傷つき防止のための樹脂製バンパーを備える。
- (3) 表面をメラミン化粧板(芯材 MDF)、周囲をウレタン塗装仕上げとする。
- (4) 伝い歩き等を考慮し、ボードの上部をつかまりやすい形状とする。

以下 樹脂製ボードのみ該当 (KA-N1411J/K/R、KA-N1421J/K/R)

- (1) 容易に着脱ができ、不用意な外れを防ぐためのストッパーを設ける。
- (2) 清拭消毒による劣化等を防止するために、主材料には耐薬品性樹脂を用いる。
- (3) 片面に化粧シートを貼付け装飾する。(Rタイプは化粧シート無し)
- (4) 伝い歩き等を考慮し、ボードの上部をつかまりやすい形状とする。
- (5) ボードの両端に手掛穴を設ける。
- (6) ボードの中央部に、ベッドナビ格納部を設ける。

3.6 電動アクチュエータおよび電装品

- (1) 電装品は、他の機器からのおよび他の機器へのノイズ等による影響、例えば、ベッド自体やベッド周辺の他の機器の故障・誤動作・測定障害などを軽減させるため、クラス I 機器(保護接地付)とする。
- (2) 手元スイッチコネクタの電圧は、患者および医療従事者の感電に対する安全性確保のため 5V とする。
- (3) 背・膝の角度、高さ調節は、業務の効率化あるいは症状に応じポジション確保が適切に行えるよう、普通・速いの2段階の速度切り替えができる。速いで設定した場合、背上げ・膝上げの傾斜角度は、最大角度まで背の場合は24秒、膝の場合は10秒で動作でき、高さ調節は41cmの調節量を20秒で動作できる。
- (4) ギャッチ操作時の患者の圧迫を防ぐため、背・膝ボトムの角度が、通常の動作中に常に90°以上の角度を確保する制御を行う。
- (5) 高さ下げ操作時にはメインフレームとベースフレームまたは床との間で、手や足、周囲の物品など

の意図しない挟まれを防ぐため、ボトムの高さが32cmの位置で一旦停止する。その際、ピッピッと警告音を鳴らす。その後、再度高さの下げ操作を行うと、警告音を繰り返し鳴らし、最低位置まで下降する。この際、ベッド動作速度が速いモードになっていても低速モードになる。

- (6) コントローラには、故障等を防止するための過電流・過熱等に対する安全対策機能を有する。
- (7) 電源プラグは、他の機器からのおよび他の機器へのノイズ等による影響、例えば、ベッド自体やベッド周辺の他の機器の故障・誤動作・測定障害などを軽減させるため、3Pプラグを利用する。
- (8) 電源コードはキャスターによる踏みつけや不用意な引き抜きに対する強度を考慮し、外形9.2mmのケーブルを使用する。
- (9) ベッドの動作開始時および停止時には、患者が感じる衝撃や不快感を軽減するため、緩やかにベッドの動作速度を加速・減速させる制御を行う。

3.7 表面処理

- (1) 主要部分の構造材外側の表面処理は、錆防止および表面強度の確保のため、電着焼付塗装および粉体焼付塗装によるダブルコーティング塗装とし、色はホワイトアイボリーとする。
- (2) 主要部分の構造材(パイプなど)の内側の錆防止のため、構造材内側の表面処理に電着焼付塗装を施す。



PARAMOUNT BED

製品機能仕様書

※これは当社の製品機能仕様書です。下線部には産業財産権等が含まれております。

1. 品名 : 電動リモートコントロールベッド

2. 製品規格番号 : KR-83503R

3. 概要

- (1) 本ベッドは、背・膝の角度、高さの調節が単独で操作できる。各動作は、手元スイッチ操作によりそれぞれ独立した電動アクチュエータで作動する。
- (2) 緊急時には、ピンを取外すことにより背ボトムを下げるができる。
- (3) 寸法は別紙図面による。

4. 各部の構成・機能

4.1 ボトム

- (1) ボトムは4分割の鋼板ボトムで構成する。
- (2) 鋼板ボトムは主材を鋼板とし、成形絞りにより強度を確保する。また、通気性確保のため、それぞれの鋼板ボトムに複数の通気孔を設ける。
- (3) 背・腰・膝・足の各ボトムは、清拭しやすい面形状とする。背ボトムと腰ボトム、腰ボトムと膝ボトム、膝ボトムと足ボトムの連結部は、清拭性を考慮したすき間を設ける。
- (4) マットレスのずれ下がり・横ずれを抑制させるため、マットレス止めを備える。

4.2 メインフレーム

- (1) メインフレーム上面はオプション品取付孔 12ヶ所(片側 6ヶ所)を備える。
- (2) (1)のオプション品取付孔は、不安全なすき間が生じることを予防するため、不適切なサイドレール等とベッドの組み合わせを防止したり、不適切な向きや位置にサイドレール等が取り付くことを防止する構造とする。
- (3) ベッドが物品などに接触した場合、接触した物品およびベッドのボトムやメインフレームなどの傷つき防止のため、サイドフレームに樹脂製サイドパネルを備える。
- (4) サイドフレームの樹脂製サイドパネルは、破損した場合など、単独で交換可能な構造とする。

4.3 ベースフレーム

- (1) 主に角形鋼管で構成され、端部にはキャスターを備える。
- (2) バリアフリー法の勾配基準の上限である 1/12 勾配の傾斜路において、ベッドのベースフレームと路面とのすき間が最も狭くなる傾斜路の頂点でも、ベッドが路面に接触せず走行できる構造とする。

4.4 キャスター

- (1) 車輪径75mmとし、ベースフレームに取り付ける。キャスターは4輪とも、首振り・回転が固定できるストッパー付キャスターとする。

4.5 ヘッドボード・フットボード

- (1) 容易に着脱ができ、不用意な外れを防ぐためのストッパーを設ける。
- (2) パーティクル材、木目シート貼り構造とする。

4.6 電動アクチュエータ及び電装品

- (1) 電装品は、使用者の感電を防ぐために二重絶縁とし、手元スイッチの電圧は5Vとする。
- (2) 手元スイッチのボタンを押すことにより、電動アクチュエータを作動させ、背・膝・高さの各動作を可能にする。
- (3) 電源のオン・オフは、手元スイッチの通電表示ランプにて確認できる。その通電表示ランプの状態により、ベッド状態を識別することができる。点灯:正常、点滅:エラー状態を示す。
- (4) 看護の効率化を図るため、ベッド上の重量にかかわらず各動作は一定の速度で上昇・下降ができる。
- (5) 手元スイッチのコードが床面に垂れ下がり、つまずきや不衛生の原因とならないように、コードにはカール構造を採用している。
- (6) 手元スイッチは、フックを備え、ヘッドボード等へ取り付けることができる。
- (7) 手元スイッチは、使用者が動作部位を判別しやすくするために、絵(ピクト)を表示すると共に文字表示がされ、通電表示ランプにより暗闇でも位置を確認しやすくする。
- (8) 手元スイッチの操作ボタン上の矢印(↑・↓)により、上げ下げの表示をし、指で触って識別できるよう突起を設ける。
- (9) 誤操作の防止や症状に応じて操作禁止をするため、手元スイッチにオン・オフの切換スイッチを備える。操作が禁止されていることは通電表示ランプの状態により識別することができる。点灯:操作可能、消灯:操作禁止を示す。
- (10) 背・高さ調節は、業務の効率化あるいは症状に応じポジション確保が適切に行えるよう、普通・速いの2段階の速度切り換えができる。速いで設定した場合、背上げの傾斜角度は、最大角度まで19秒で動作でき、高さ調節は330mmの調節量を22秒で動作できる。手元スイッチに切換スイッチを備える。背・高さが高速であることは、手元スイッチ上部のLED表示で設定状態を確認できる。
- (11) ギャッチ操作時の患者の圧迫を防ぐため、背・膝ボトムの角度が、通常の動作中に常に90°以上の角度を確保する制御を行う。
- (12) 背・膝・高さの各動作の開始を確認できるように、操作ボタンを押した瞬間にピッと操作音を鳴らす。
- (13) 高さ下げ操作時には、メインフレームとベースフレームまたは床との間で、手や足、周囲の物品などの意図しない挟まれを防ぐため、ボトムの高さが300mmの位置で一旦停止する。その際、ピッピッと警告音を鳴らす。その後、再度高さ下げ操作を行うと、警告音を繰り返し鳴らしながら、最低

位置まで下降する。この際、ベッド動作速度が速いモード、または普通モードになっていても遅いモードになる。

- (14) 不意な操作による挟まれ防止などの安全確保のため、手元スイッチのボタンを2つ以上同時に押した場合、誤操作とみなし動作を停止する。
- (15) コントローラには、故障等を防止するため、過電流・過熱等に対する安全対策機能を有する。
- (16) 手元スイッチの本体、フックは交換が可能である。
- (17) 電装品は、電源をオフにしても各設定情報を保持する。
- (18) ベッドの動作開始時および停止時には、患者が感じる衝撃や不快感を軽減するため、緩やかにベッドの動作速度を加速・減速させる制御を行う。
- (19) 電装部の異常時には、手元スイッチの通電表示ランプのLED点滅で異常が確認できる。

4.7 表面処理

- (1) 主要部分の構造材外側の表面処理は、錆防止および表面強度の確保のため、電着焼付塗装および粉体焼付塗装によるダブルコーティング塗装とし、色はホワイトアイボリーとする。
- (2) 主要部分の構造材(パイプなど)の内側の錆防止のため、構造材内側の表面処理に電着焼付塗装を施す。